

# 株式会社 アールシー川西

## 2023 年度 環境経営レポート

(取組期間: 2023 年5月1日～ 2024 年4月30日)



エコアクション21<sup>®</sup>  
認証番号 0013848

発行日: 2024年7月31日

## 目 次

項 目	ページ
ご挨拶	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	12
緊急事態対応訓練	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	13
これまでの環境活動の紹介	13



## ご挨拶

当社は産業廃棄物の専門処理業者として創業以来、地球環境にやさしい「循環型社会」形成推進の一役を担うため、廃棄物の再資源化に取り組んで参りました。

常に新しい方法で廃棄物の再資源化に取り組み、地球の未来を考えての処理を行っております。私はこの事業を始めてから、この世にいらぬものはないと考えるようになりました。全てはリユースが可能であり、またどこかで誰かの役に立つものだと考えております。

これからも私達は、地球環境にやさしく、お客様のお役に立てる企業として精進して参ります。

## 環境経営方針

廃棄物の再資源化率の向上を目指し、各種建造物の解体撤去工事、道路や河川護岸等の改修工事からの建設副産物や、鉄鋼メーカーの各種生産工程より排出される鉄さびの性状は多種多様ですが、当社の長年のノウハウを駆使して、廃棄物の再資源化率向上に有効な、より高度なリサイクル技術の構築に、日々取り組んでいます。

本業である廃棄物の中間処理を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境課題の解決に向けた活動に自主的・積極的に取り組みます。

安全で安心していただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって環境経営の継続的改善活動に取り組んでまいります。

## 環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 事業所や車両の二酸化炭素削減に努めます。
3. 自社の廃棄物の削減や受託廃棄物の再資源化に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 事故ゼロを目標とします。
6. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2022年5月1日

代表取締役社長 鍛冶 俊彰

## RCK 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 アールシー川西  
代表取締役社長 鍛冶 俊彰

(2) 所在地

本社・工場 兵庫県川西市下加茂二丁目78番

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 代表取締役 鍛冶 俊彰 TEL: 072-759-8380  
担当者 営業部 九坪 勇樹 FAX: 072-759-2985

(4) 事業内容

産業廃棄物処分業、再生砕石販売業

(5) 事業の規模

法人設立 1983年5月2日  
資本金 1,000 万円  
売上高(2023年度) 25,899 万円

(6) 事業年度

5月1日～4月30日

	本社	本社・工場	資材倉庫	合計
従業員	3名	7名	無人	10名
延べ床面積	160 m <sup>2</sup>	820 m <sup>2</sup>	50 m <sup>2</sup>	1,030 m <sup>2</sup>

受託した産業廃棄物の処理量

収集運搬量	0 t		
中間処理量	100,900 t	うち再資源化量	100,600 t
最終処分量	0 t		
中間処理後の産廃の処分量	300 t	うち再資源化量	0 t

車種	台数	備 考
ホイールローダー	1 台	WA320 小松製作所
油圧ショベル(ブレード装備)	1 台	PC210 小松製作所
油圧ショベル	1 台	SH220HBL 住友建機販売(株)
油圧ショベル	1 台	SH200 住友建機販売(株)
油圧ショベル(マグネット装備)	1 台	SH200 住友建機販売(株)
社用車	4 台	
合計	9 台	

## RCK 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社 アールシー川西  
対象事業所: 本社・工場  
活 動: 産業廃棄物処分業、再生砕石販売業

## 【産業廃棄物処分】

廃棄物の再資源化率の向上を目指します。

各種建造物の解体撤去工事、道路や河川護岸等の改修工事からの建設副産物や鉄鋼メーカーの各種生産工程より排出される鉱さいの性状は多種多様ですが、当社の長年のノウハウを駆使して、廃棄物の再資源化率向上に有効な、より高度なリサイクル技術の構築に日々取り組んでいます。



スクラップの振り分け作業



コンクリートガラの搬入



再生碎石の積込

## 【再生碎石販売】

高品質を維持し安定供給に努めます。(RC-40、RC-10)

不要となった廃棄物も、適宜、適正な所為さえ施せば、その有効な特性が蘇り「役に立つ物」に生まれ変わります。それが、『リサイクル』です。

決して単なるゴミではありません。

当社の再生碎石は、同等の天然材を凌ぐ高品質を維持し安定供給に努め、各種公共工事をはじめ各方面にて高い評価を受け、ご利用頂いております。



RC-40mm



RC-10mm

一般的なRC-40mmだけでなくRC-10mmの碎石もご用意することができます。



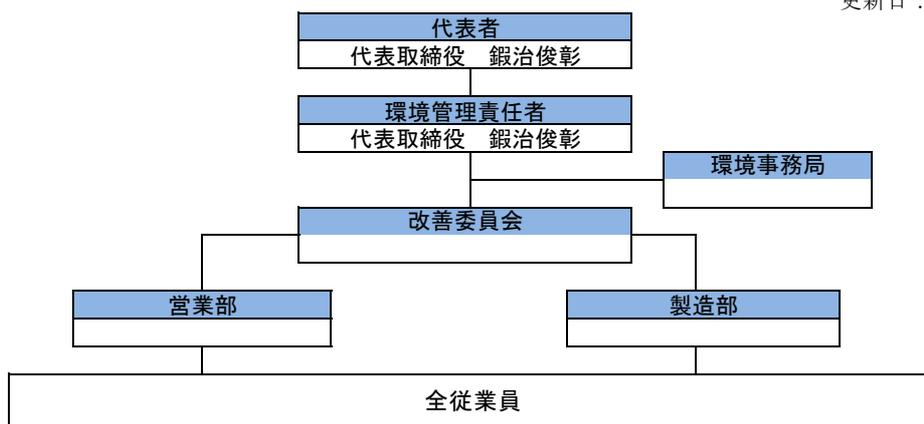
計量器も完備



高品質な再生碎石



RC-40製造現場



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、の事務局</li> <li>環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成</li> </ul>
改善委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境活動計画の審議</li> <li>環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

■再生処理プラント



川崎重工業製  
粗碎用ジョークラッシャKS-3624G



川崎重工業製  
細割用HDブレーカーKAP-60



川崎重工業製  
水平スクリーン1200W×3600L2D型



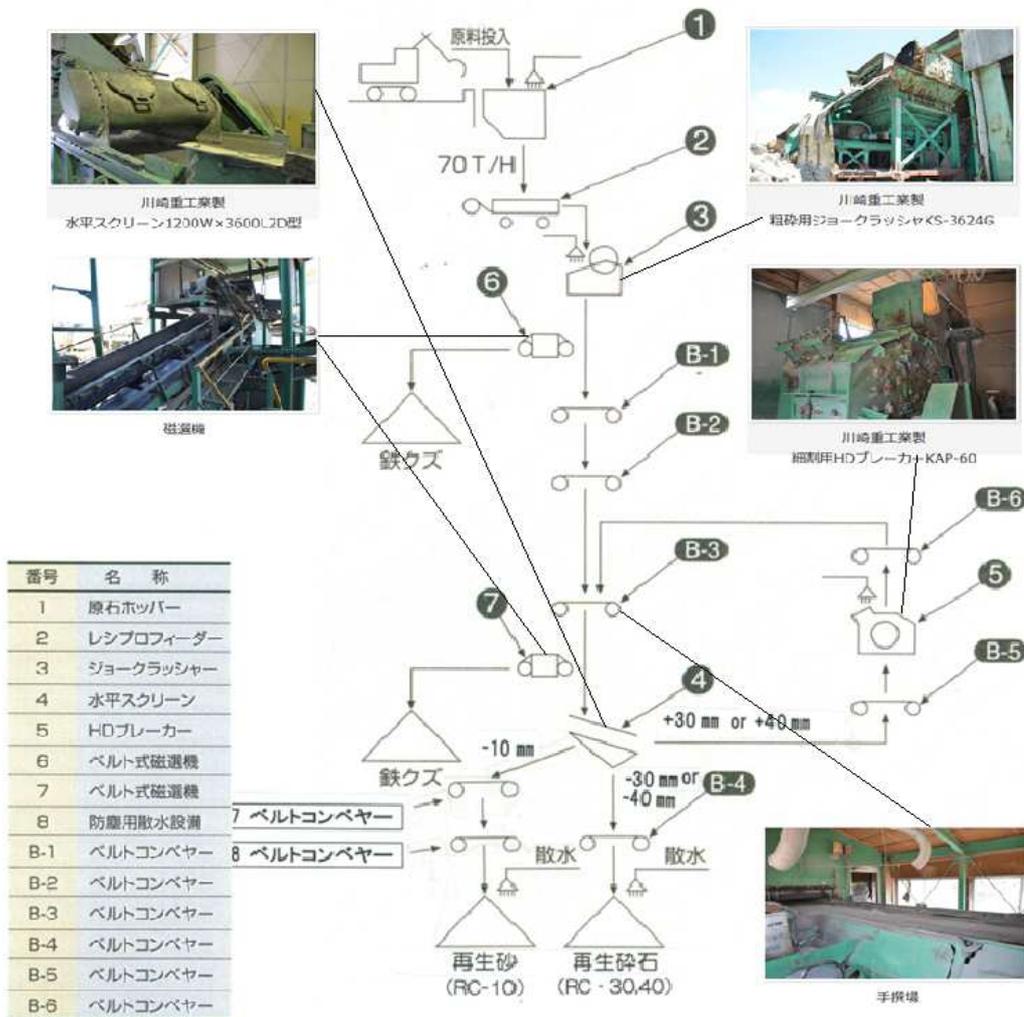
手撰場



磁選機



高圧電力設備



RCK 許可の内容

産業廃棄物処分許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類
兵庫県	02823022631	令和4年4月7日	令和9年4月6日	中間処理(破碎)	廃プラスチック 木くず 紙くず 繊維くず ガラス・コンクリート・陶器くず がれき類 金属くず 鉱さい
					○ ○ ○ ○ ○ ○

処理能力 560t/日

## RCK 主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	222,472	237,460
受託収集運搬量	トン		0
受託中間処理量	トン	100,800	100,900
受託最終処分量	トン	0	0
廃棄物排出量			
一般廃棄物排出量	Kg	156	155
産業廃棄物排出量	Kg	27,650	21,350
水使用量	m <sup>3</sup>	258	232

※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）は 0.485 kg-CO<sub>2</sub>/kWhです。

日本テクノ㈱（A0019）2020年度

※二酸化炭素総排出量には、LPGによるものを含む

## RCK 環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値	2023年度		評価	2024年度	2025年度
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	65,821	65,163	59,459	○	64,505	63,847
	基準年度比	2021年	99%	90%		98%	97%
原単位評価	kg-CO <sub>2</sub> /千円	0.278	0.276	0.230	○	0.273	0.270
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	177,329	175,556	177,930	×	173,783	172,009
	基準年度比	2021年	99%	100%		98%	97%
上記取組み期間の二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	243,151	240,719	237,389	○	238,288	235,856
一般廃棄物の削減	kg	170	168	155	○	167	165
	基準年度比	2021年	99%	91%		98%	97%
受託廃棄物のリサイクル	%	90%	91%	99.7%	○	91%	92%
	基準年度比	2021年	101%	111%		101%	102%
安定型建設混合廃棄物	kg	33,775	33,437	21,350	○	33,100	32,762
	基準年度比	2021年	99%	63%		98%	97%
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	238	236	232	○	233	231
	基準年度比	2021年	99%	97%		98%	97%

※化学物質の使用はありません。

※受託廃棄物のリサイクル率：

中間処理リサイクル量100,600kg/受託した産業廃棄物中間処理量100,900kg×100≒100%

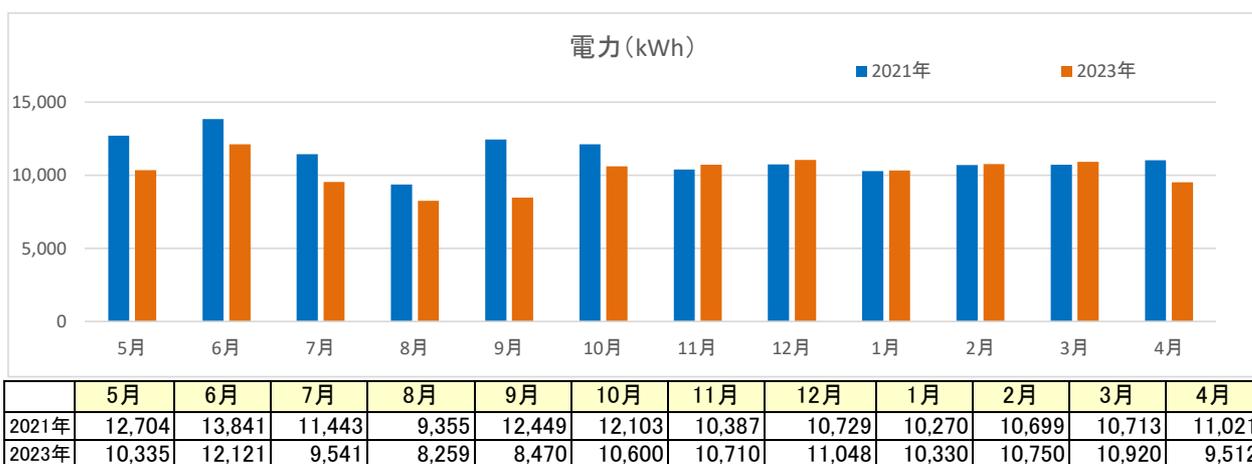
※電力による二酸化炭素削減（原単位評価）分母は売上高です。

## RCK 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

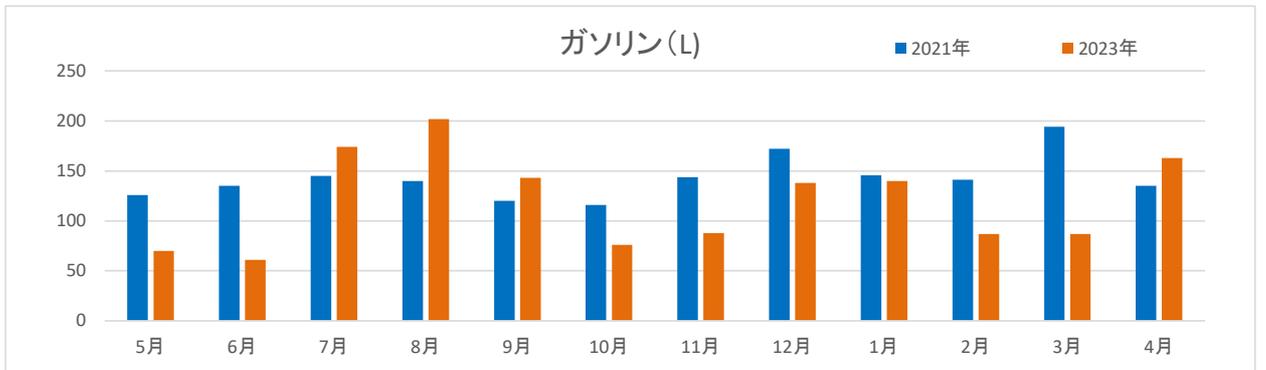
数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

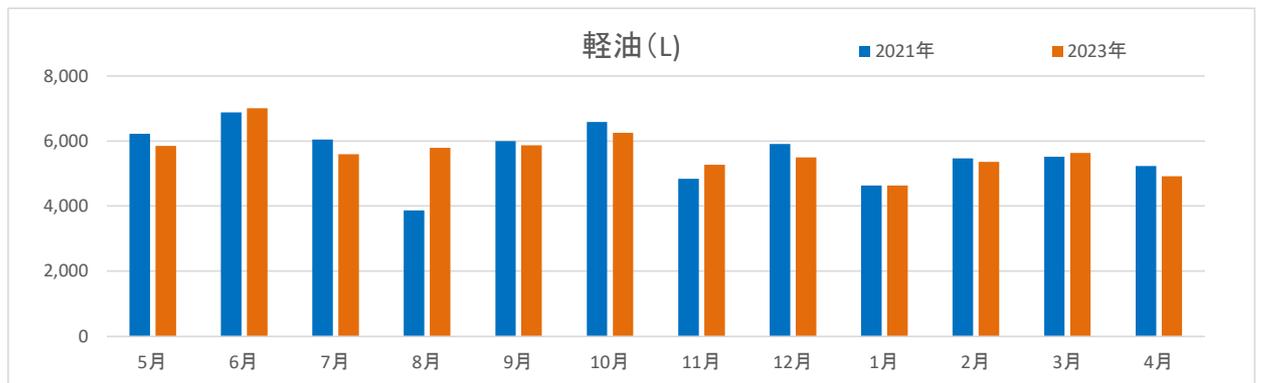
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、本年度の取組内容
数値目標	○	上半期は月次目標を達成できているが、下半期は再生砕石の受注が多かったこともあり目標未達成となった。累計評価としては目標達成しています。
原単位目標	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・服装の工夫をして冷暖房の使用を抑える	○	



自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、本年度の取組内容
数値目標	×	月次評価では達成している部分もあるが累計評価は未達成だった。売上が上がるとガソリン、軽油の使用率も上がる。次年度は目標達成を目指します。
・適正な車輛整備を行っている	○	
・アイドリングストップの徹底	○	

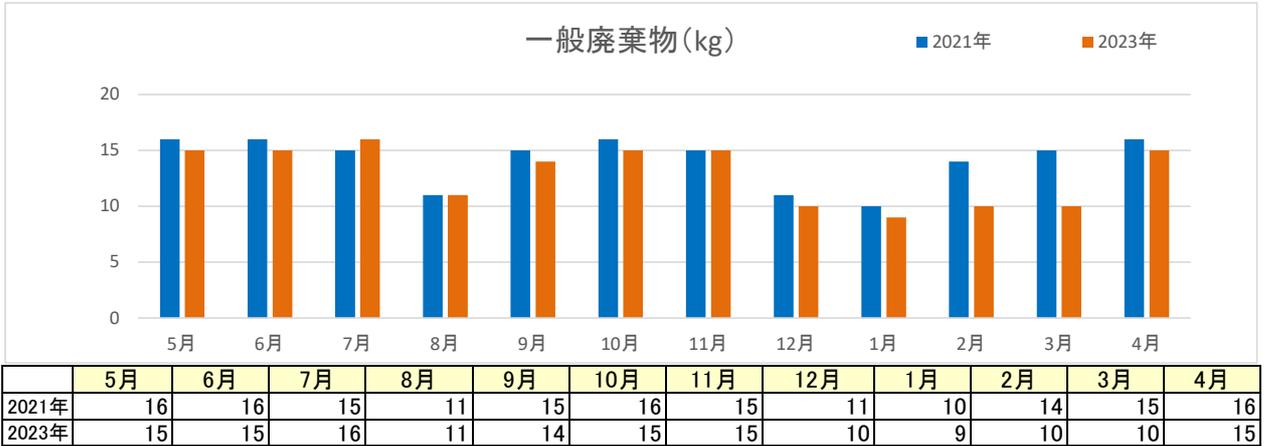


	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2021年	126	135	145	140	120	116	144	172	146	141	194	135
2023年	70	61	174	202	143	76	88	138	140	87	87	163

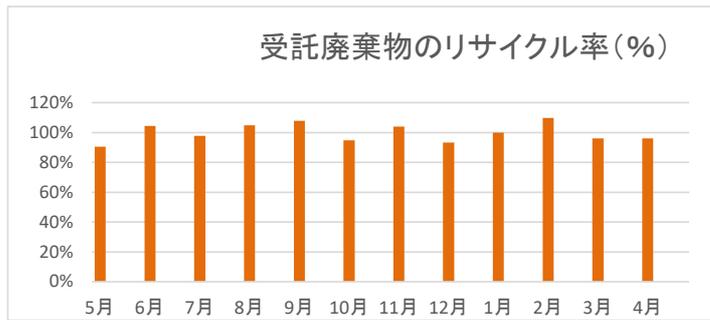


	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2021年	6,227	6,884	6,043	3,866	5,992	6,585	4,838	5,910	4,628	5,466	5,516	5,236
2023年	5,853	7,006	5,598	5,787	5,870	6,249	5,272	5,499	4,633	5,363	5,636	4,914

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、本年度の取組内容
数値目標	○	11月以降もほぼ前年以下の数字を保っている。次年度もこの状態を維持していきます。
・詰め替え可能な製品を選ぶようにする	○	
・使い捨て製品の購入や利用を控えている	○	



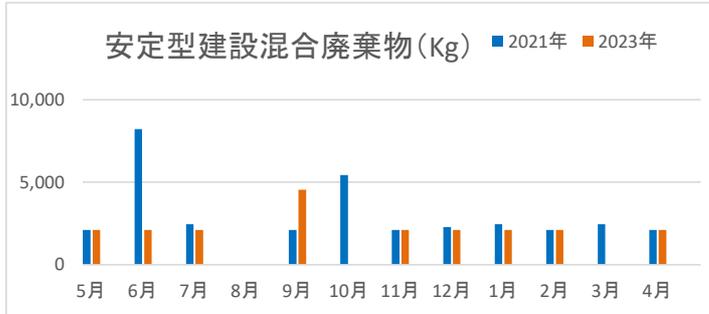
受託廃棄物のリサイクル率の向上	達成状況	取組結果とその評価、本年度の取組内容
数値目標	○	11月以降も100%に近い数字を保っている。次年度はさらに排出量削減を進めていきます。
・新規顧客の獲得	○	
・プラントのメンテナンス	○	



日頃の感謝を込めてお菓子の配布

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2023年	91%	105%	98%	105%	108%	95%	104%	93%	100%	110%	96%	96%

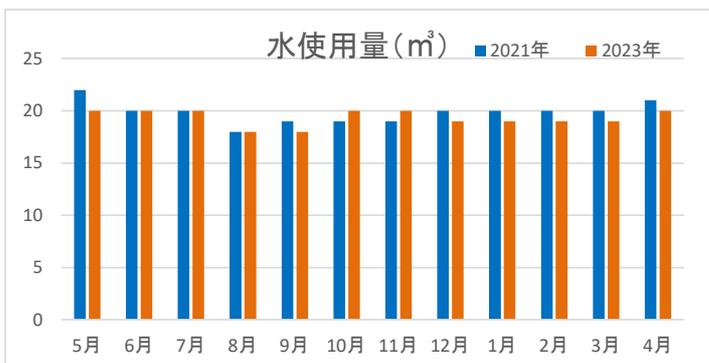
安定型建設混合廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、本年度の取組内容
数値目標	○	スクラップ類とそれ以外の廃棄物を分けることで削減することができている。場内に持ち込まれる段階で内容が酷いようであれば注意、もしくは受入中止にしている。コンクリートガラのみ受入可能。次年度もさらにこの取り組みを継続していきます。
・より細かい選別作業	○	
・受入段階での選別	○	



混入している受託不可物はコンテナへ

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2021年	2,100	8,225	2,450	0	2,100	5,425	2,100	2,275	2,450	2,100	2,450	2,100
2023年	2,100	2,100	2,100	0	4,550	0	2,100	2,100	2,100	2,100	0	2,100

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、本年度の取組内容
数値目標	○	次年度はさらに排出量削減を進めていきます。
・日常的に節水を励行	○	
・水量を減らす工夫をしている	○	



各手洗い場に節水のポスター

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2021年	22	20	20	18	19	19	19	20	20	20	20	21
2023年	20	20	20	18	18	20	20	19	19	19	19	20

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・優良顧客の獲得	○	廃棄物処分、再生砕石販売ともに新規顧客は増加しているのでこのペースを維持していきたい。環境活動については工場周辺の清掃を徹底しています。次年度では廃棄物の受入率、再生砕石の使用率をあげることを目標とします。
・資格取得の支援	○	

## RCK 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
産業廃棄物処理法	業許可申請の遵守、マニフェストの適正管理	遵守
騒音規制法・振動規制法	特定施設（クラッシャー、ブレーカーなど）の届出	遵守
消防法	消火器の定期点検	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の点検・記録	遵守
水質汚濁防止法	廃油の流出事故時の報告	遵守
大気汚染防止法	一般粉じん発生施設の届出	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄時の適正な処理	遵守
オフロード法	点検整備、適正使用	遵守

2024年 4月30日

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局より違反等の指摘及び訴訟等もありませんでした。また、苦情もありませんでした。

## RCK 緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 事故の発生	
■実施日： 2023年10月4日	■実施場所 休憩室
■参加者： 宮崎、西、松田、佐藤、九坪、高橋	■実施内容： ・プラント内事故発生の想定 手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■評価： プラント内での事故発生を想定し対応できるようにした。 緊急時での各自対応の仕方を確認。	
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023年10月13日	■実施場所 駐車場前
■参加者： 宮崎、西、松田、佐藤、九坪、高橋	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練 手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■評価： 現場、事務所での火災発生時に消火器の保存場所等について社員全員が確認。 対応できるようにした。	
■実施状況の様子	
 2F事務所	 1F休憩室

## RCK 代表者による全体の評価と見直し・指示

今回は電力、一般廃棄物、リサイクル率、安定型建設混合廃棄物、水道水が目標達成している。  
ガソリン、軽油は未達成の結果となった。  
最初の5項目についてはこの状態を維持していきたい。  
未達成の項目については販売量と受入量によって、軽油の消費は大きく関係してくるので  
環境活動と経営のバランスをとって目標達成を目指したいと思う。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

2024年 5月23日

代表取締役社長 鍛冶 俊彰

## RCK これまでの環境活動の紹介

当社による近隣の清掃作業の様子



定期的に工場周辺を清掃しております



砂埃を中心に清掃します



地域のボランティア活動に参加

